

平成26年度

社会基盤整備に係る予算の確保について

平成25年11月

豊田市

社会基盤整備に係る予算の確保について

豊田市長	太田 稔彦
豊田市議会議長	杉浦 弘高
豊田商工会議所会頭	三宅 英臣

豊田市、そして西三河地域は、ものづくり産業の中心として日本の経済発展を支えてきた地域であり、今後もその責務を果たしてゆくべき地域である。一方で、当地域の社会基盤は未だに十分に整備された状況に無く、加えて、近い将来には大地震の発生が確実視されている地域でもある。

政府におかれては、我が国の現下の厳しい経済情勢も踏まえて「国土強靱化」の推進に向け、老朽化対策、防災・減災対策、国際競争力の強化などを中心とした、投資効果の高い事業への重点化が検討されている。

我が国の産業の空洞化を阻止し、国内の雇用を守り、被災地の復興を支援していくためにも、当地域の国際的な競争力や防災力を向上させ、国内の経済活動を活性化させることが絶対に必要である。

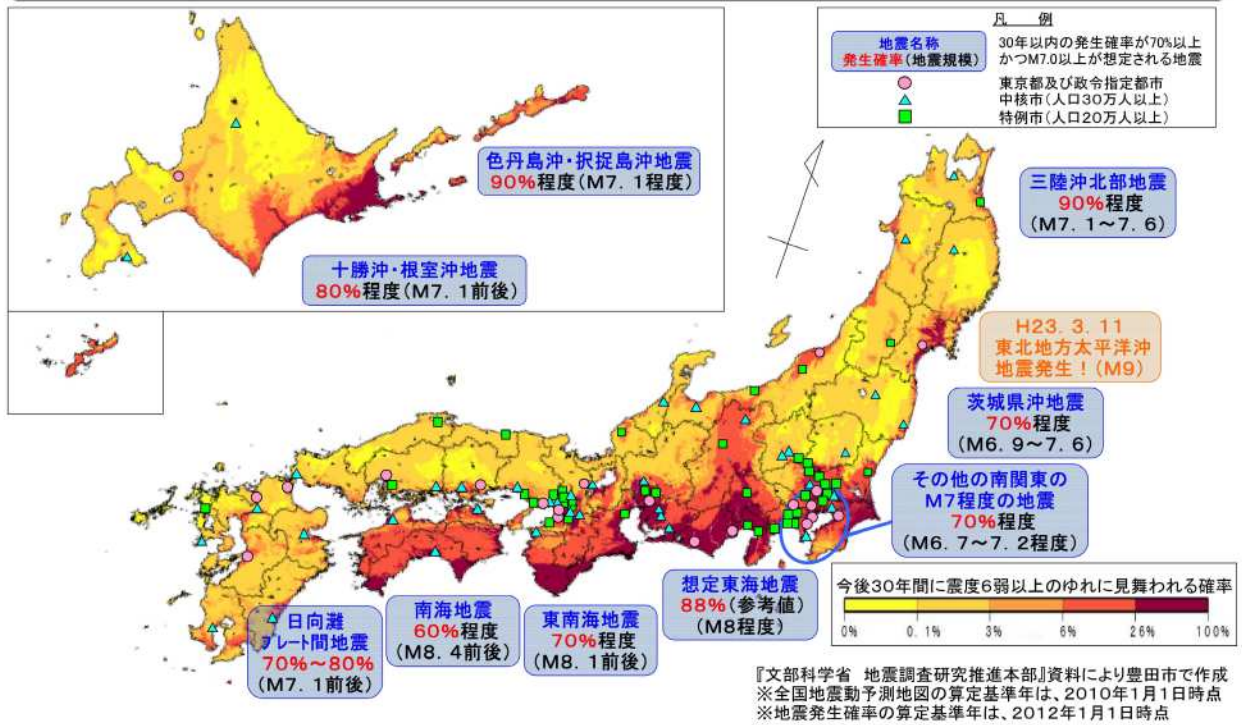
このことに十分に留意し、今後の社会基盤整備に関し、以下の事項について特段の配慮を強く要望する。

記

- 1 国内の産業と雇用を維持し、東日本大震災被災地の復興を着実に推進するためにも、被災地域以外の地域の国際競争力、並びに防災力の向上に必要な社会基盤整備に対する必要かつ十分な予算を確保すること。
- 2 特に豊田市のある東海地方は、我が国のものづくり産業の中心地であり、かつ近い将来、大地震の発生が確実と言われる地域である。早急な対策が必要であることを充分理解し、必要な予算を確保すること。

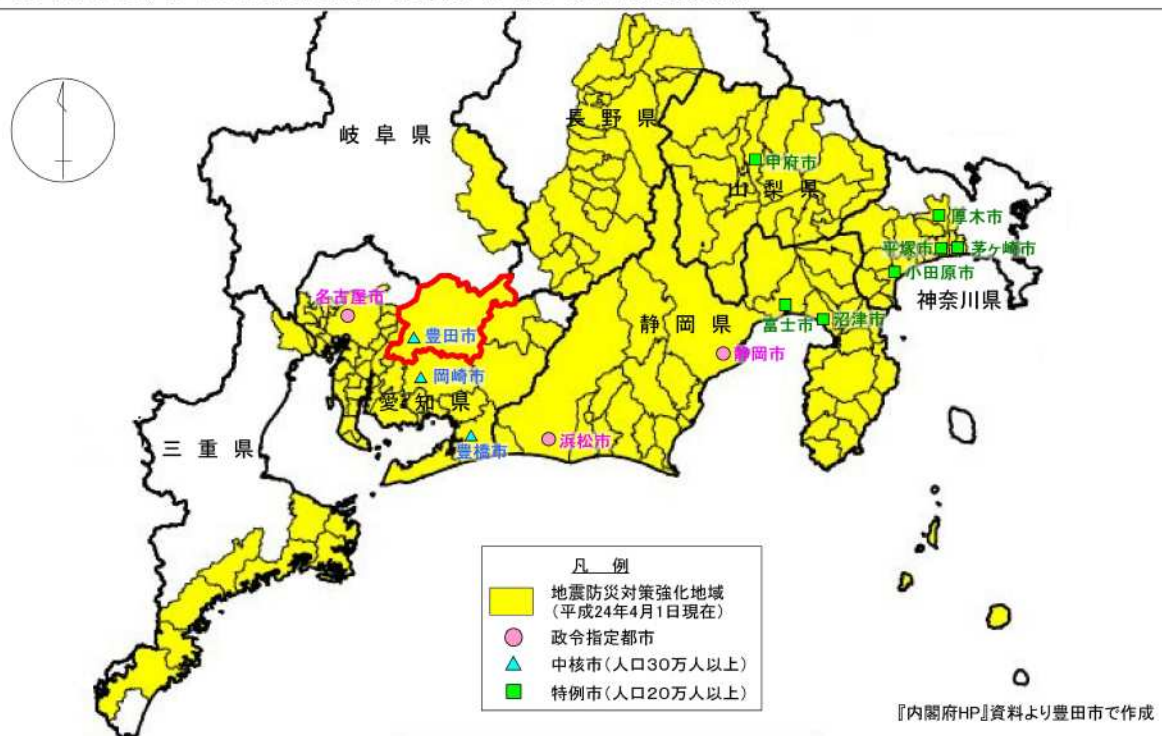
発生確率の高い想定大地震と我が国の大都市分布

○大規模地震発生が予測される地域が、太平洋沿岸域を中心に広く分布しており、その地域には、多くの大都市が存在する。



東海地震に係る地震防災対策強化地域の主な大都市分布

○東海地震防災対策強化地域内には、多くの大都市(政令指定都市3市,中核市3市,特別市7市)があり、また、多くの産業拠点が集約されている地域である。



豊田市における急傾斜地崩壊危険区域

○豊田市内には危険な急傾斜地形も非常に多く存在する。



豊田市における東海豪雨被害と中心市街地に潜在する水害危険性

○平成12年9月の東海豪雨では、矢作川の破堤は免れたが、万一破堤すれば、中心市街地が広範に浸水（市役所で水深5m超）するギリギリの状況であった。

